

事業の概要	事務事業名	地域協議会創設事業				担当部	市長公室	担当課	協働推進課						
	実施計画	2	年目												
	新基本計画	市政戦略編	○	分野別計画編	7	自治体経営	30	地域協働	2	コミュニティ活動を推進します					
	予算区分	一般会計	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	協働推進費	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画	① 小牧市地域協議会制度方針 ② 小牧市地域助け合い交付金交付要綱 ③ 小牧市地域パートナーに関する要綱													
	目的	何(誰)を対象に	地域住民												
		どのような状態にするか	新しいコミュニティ組織として小学校区単位で「地域協議会」を設立し、地域の絆力を高めながら、地域が主体的に地域の課題解決を図り、これからも安心して暮らし続けられる地域をつくる。												
		どのような事業を実施するか	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域協議会市民会議の開催</li> <li>・設立に向けた進め方の検討、設立地区の事業計画の審議</li> <li>○区長会との連携</li> <li>・まちづくり講演会及び先進地視察の実施</li> <li>○住民向けの勉強会等の開催</li> <li>・区長や民生児童委員をはじめとした地域住民を対象とし開催</li> <li>○設立された協議会に対する支援</li> <li>・地域パートナーによる人的支援及び地域助け合い交付金による財政支援</li> <li>○地域協議会設立推進会議の開催</li> <li>・全庁的体制で「協議会の設立」及び「協議会の活動を活性化する仕組みづくり」を検討・実施</li> </ul>												
		事業内容													
		28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域協議会市民会議の開催(5回)</li> <li>・各地区の進捗状況の報告、設立に向けた進め方などを協議</li> <li>○区長会との連携</li> <li>・区長会まちづくり講演会の実施(四日市大学:岩崎教授による講演)参加者:73名</li> <li>・区長会先進地視察の実施(三重県松阪市:住民協議会について)参加者:72名</li> <li>○住民向けの勉強会等の開催</li> <li>・住民向けの勉強会等の実施(2地区2回、5小学校区16回)</li> <li>○設立された協議会に対する支援</li> <li>・地域パートナーによる人的支援及び地域助け合い交付金による財政支援(3学区)</li> </ul>												
	29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域協議会市民会議の開催(4回)</li> <li>・各地区の進捗状況報告、設立に向けた進め方などについて協議</li> <li>○区長会との連携</li> <li>・区長会まちづくり講演会の実施(鹿児島県鹿屋市柳谷自治公民館長:豊重哲郎氏による講演)参加者:90人</li> <li>・区長会先進地視察の実施(地域自治組織の先進地)</li> <li>○住民向けの勉強会等の開催</li> <li>・各地区で設立に向けた勉強会等の実施</li> <li>○設立された協議会に対する支援</li> <li>・地域パートナーによる人的支援及び地域助け合い交付金による財政支援(10学区)</li> <li>○地域協議会設立推進会議の開催(4回)</li> <li>・全庁的体制で「協議会の設立」及び「協議会の活動を活性化する仕組みづくり」を検討・実施</li> </ul>													

事業費	財源内訳 (千円)	H28		H29
		当初予算額	決算額	当初予算額
	合計	14,034	3,465	18,763
	国支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	14,034	3,465	18,763
	特定財源の説明			
事業費	事業費内訳 (千円)	H28		H29
		当初予算額	決算額	当初予算額
	細々節			
	講師謝礼	300	0	400
	地域協議会市民会議謝礼	881	632	588
	普通旅費	22	14	0
	消耗品費	12	12	0
	食糧費	23	15	0
	筆耕翻訳料	234	175	173
	バス借上料	150	0	0
	有料道路・駐車場使用料	30	8	0
	地域協議会事務局開設準備金	1,500	0	2,000
	地域助け合い交付金	10,882	2,609	15,602
従事者数	正職員(人数)	3	3	3
	その他職員(人数)			

ステップ I	影響を与える展開方向の指標		単位	目指す方向性	基準値	H26	H27	H28	H29
	①	地域協議会の取組みを知っている市民の割合	%	→	13.9	13.9	13.2	13.3	
②									
基本施策の展開方向の指標に対する影響(貢献等)									
H28 実施結果	地域協議会の設立学区も限られており、認知度は上がっていない。今後、設立数が増え、活動が活性化していけば認知度は上がっていくと考えられる。								
ステップ II	事業の成果指標		単位		H26	H27	H28	H29	
	①	地域協議会の設立(累計)	箇所	目標	5	6	7	10	
				実績	1	2	3		
②				目標					
				実績					
ステップ II	事業の活動指標		単位		H26	H27	H28	H29	
	①	地域別の勉強会等	回	目標	8	8	8	14	
				実績	9	5	18		
②				目標					
				実績					
事業の目標達成状況とその要因、実績増減の要因、今後の見通し									
H28 実施結果	勉強会等の開催数は目標を上回ったが、設立数については目標を達成できなかった。しかし、地域協議会の必要性について理解される地区は増えているため、設立数は増えていく見通しである。								
ステップ III	要因を踏まえた事業の見直し								
H28 実施結果	共通の課題である「防災」と「福祉」の取り組みをきっかけとした地域協議会の設立を促す。また、庁内の「地域協議会設立推進会議」において、関係部署が連携し、情報共有を図ることで、全庁的に設立を推進していく。								

次評価	判定		判定理由
	事業の方向性	拡大	対象の拡大や手段の充実等により、事業のボリュームを拡大するべきもの

二次評価	判定		判定理由
	事業の方向性	拡大	一次評価のとおり。
	実計ヒアリング実施要否	必要	
事業の位置づけ	実施計画事業として継続		